

平成 26 年度 大学院生活機構研究科人間教育学専攻 修士論文題目一覧

- | | |
|--|---------|
| ○乳児における音楽の役割と発達過程の研究
ー出生から1歳6か月齢までの観察に基づく分析・考察ー | 中 野 由紀子 |
| ○高等学校における豊かな人間形成に関わる食の教育 ー食育を通しての道德教育ー | 會 田 友 紀 |
| ○幼稚園教諭・保育者養成課程におけるピアノ教育の課題分析とその克服に向けての提案
ー求められる演奏技術と効果的な教材についてー | 小 西 泰 枝 |
| ○子どもの生命観を育てる学校外教育施設の活用 ー水族館の効果的な活用を視点としてー | 佐 貫 礼 奈 |

平成 26 年度 人間社会学部初等教育学科 卒業論文題目一覧

- | | |
|--|---------|
| ○『アンパンマン』におけるキャラクター「ばいきんまん」の一考察 | 天 津 梨 絵 |
| ○音楽活動によって協同性が育まれるための保育者の援助 | 飯 田 晴 菜 |
| ○保育者の「言葉」の子どもの発達に及ぼす影響について | 飯 塚 理 紗 |
| ○ハンス・クリスチャン・アンデルセンの研究 | 壹 岐 明日香 |
| ○幼児期における子育ての環境が及ぼす影響と改善策について | 伊 藤 久美子 |
| ○口承文芸としての昔話の魅力 ー昔話の法則とその教育的意義ー | 稲 垣 綾 子 |
| ○絵本の多面的な魅力を引き出す保育のあり方に関する研究 | 稲 葉 千 尋 |
| ○子ども同士のかかわりを深めるための援助の工夫 | 井 上 彩 香 |
| ○絵本が子どもに与える道德的影響に関する研究 | 岩 本 萌 夢 |
| ○幼児期における創作オペレッタ活動について | 大 高 由 香 |
| ○ダンス教育の広がり子どもに対するダンス指導法の提案
ーA ダンススクールの実践指導を通してー | 大 塚 ありさ |
| ○シュタイナー教育における芸術の意義と役割 | 折 原 有 美 |
| ○保護者の子育てを支援する保育参加のあり方に関する研究 | 鍛 冶 絢 子 |
| ○マリア・モンテッソーリの教育思想 ー現代の教育現場に生かせることー | 木ノ内 有 紗 |
| ○現代における「子育て本」の分析 | 黒河内 彩 |
| ○登校理由及び学校好き感情の関係性 | 小 松 美優貴 |
| ○幼児期男児の「戦隊ヒーロー」ごっこ遊びに関する一考察 | 小 宮 加奈子 |
| ○対人関係ゲームによる不登校児童への支援のあり方 | 小 山 梨 絵 |
| ○現代の日本人における生活習慣に関する考察 ー児童・生徒を中心にー | 坂 本 奈 々 |
| ○子どもが恐い話を好む理由 ー絵本・アニメについてー | 重 森 好 美 |
| ○「遊び」「生活」を通して規範意識に関する考察 | 島 本 佳 穂 |
| ○コミュニケーションスキルを身に付ける体育授業 | 東海林 幸 歩 |
| ○乳幼児期の音環境と保育者の援助 | 芹 澤 美 穂 |
| ○大学生を対象にした勉強行動のセルフマネジメント | 田 島 捺 希 |
| ○子どもの遊びの「時代性」を探る | 宮 本 真理奈 |
| ○学級経営における教師の指導・支援の在り方 ー学級活動における実践事例を通してー | 大 尾 朋 実 |
| ○身体表現を取り入れた音楽活動 | 土 谷 裕 美 |
| ○対人関係ゲームの有効性の検討 | 角 田 瑞 穂 |
| ○絵本の役割を子どもの発達から考察する | 徳 光 志 保 |
| ○通常学級における発達障害をもつ児童の支援方法 | 中 邑 美紗希 |
| ○人権感覚を育む道德の指導方法に関する研究 | 林 美 里 |
| ○幼稚園や保育所における「教材」に関する研究 | 藤 川 千 帆 |
| ○「遊びうた」の研究 | 藤ヶ谷 麻 未 |
| ○道德的実践力を高めるための道德授業の在り方 | 本 多 優 里 |
| ○就学前教育における数量・図形に係る保育者の働きかけに関する研究
ー小学校「算数」の学びと円滑な接続を求めてー | 本 間 美 紀 |
| ○小児期における問題行動の原因と捉え方 | 丸 山 由 果 |
| ○学級経営に生かす朝の会の教育的意義 | 水 野 司 麻 |
| ○ハンガリー・日本の幼児期における音楽教育の比較考察 | 水 野 理 絵 |
| ○教材としての『不思議の国のアリス』の可能性 | 村 瀬 智 美 |
| ○発達に即した遊びと環境構成に関する考察 | 目 片 英 理 |
| ○「教育の情報化」ーEラーニングの可能性ー | 森 淳 子 |
| ○わらべうた<<どちらにしようかな>>の研究 ー歌詞を中心としてー | 八 木 杏 奈 |
| ○子どもの体力低下に伴う、生活の現状の実態と課題について | 安 田 裕 子 |
| ○「ピーターラビット」絵本の世界 ー子どもと動物たちの関わりを中心にー | 山 崎 千 尋 |
| ○「人気キャラクター」と「子どもの生活」の関係性についての研究 | 山 本 萌 真 |
| ○ピーターラビットの研究 ー時代背景とその影響ー | 渡 辺 漣 |
| ○偉人・伝記から学ぶ道德教育に関する研究 ー二宮尊徳を中心としてー | 和 田 優里佳 |
| ○子どもの「泣き」について
ーコミュニケーション手段としての子どもの「泣き」と保育者の対応ー | 伊 津 由希子 |
| ○インクルーシブ保育における保育者の役割について | 小 倉 志央里 |
| ○子どもの発達と運動的遊びのかかわりについて | 佐 藤 布結子 |
| ○伝承遊びの魅力についての研究 ーけん玉のグローバル化ー | 相 田 彩 乃 |

○教職を志す学生が考える教師にとって必要な資質能力について
 ○「ちびまる子ちゃん」がなぜ人気なのか
 ○「ハローキティ」から「ぼんぼんりぼん」までサンリオキャラクターに関する一考察
 ○応用行動分析を用いた「ながらスマホ」行動への介入
 ○日本の公立小学校における給食を活用した食育に関する考察 ー横浜市立 A 小学校教員
 および学校栄養士を対象とした給食の時間の食育に関する聞き取り調査による分析ー
 ○保育における幼児文化の意義と子どもの教育
 ○応用行動分析を用いた手続きによる喫煙行動の弱化
 ○水泳指導について
 ○“イケメン” にみる女子大生の嗜好観
 ○折り紙と折形の研究 ー折り紙を題材とした授業の提案ー
 ○高知県南国市立小学校の食育に関する考察
 ー教諭および栄養教諭を対象とした聞き取り調査による分析ー
 ○遊びの本質とその特性 ーごっこ遊びを通してー
 ○児童の着席行動に称賛と報酬がどのような影響を与えるのか
 ○『ディズニープリンセス』が拓くファンタジーの世界
 ー幼児期女児におけるプリンセスごっこ遊びー
 ○セルフマネジメントを用いた片付け行動の定着
 ○幼児の性役割概念の獲得と遊びの性差について
 ○外国人母親が求める援助について
 ○2 歳児のあそびの表現についての考察 ーピアジェのあそびの分類と発達の理論に基づいてー
 ○日本とフィンランドの算数教育 ー□を用いた式の扱いについてー
 ○応用行動分析を用いた気になる子の支援
 ○幼児期・児童期におけるボディパーカッションについて
 ○幼児の食べ物の好き嫌いとおぼろげに食残しに関する調査と改善策についての研究
 ○生活体験から子どもの自由な表現を育む製作活動
 ー第 2 学年「つくって あそぼう」を事例としてー
 ○日本の体育教育の現状と改善策 ー諸外国の体育教育の相違ー
 ○小学校社会科における望ましい授業類型の研究 ー公民的資質の育成を目指してー
 ○子供の母親に対する愛着行動について ー分離不安に関する考察ー
 ○ハツ鹿踊の研究
 ○偉人を取り上げた道徳教育の重要性と可能性に関する研究
 ○日本の保育所における食育に関する考察
 ー「家庭における食育の推進」を目指した保護者に対する支援ー
 ○学習規律と学級づくり
 ○理科好きな子どもを育成する内容に関する研究 ー物質・エネルギーの分野を中心にー
 ○いじめの未然防止に向けた効果的な取り組み
 ○日本の小学校における食育に関する考察
 ー特別活動における食育実践と大学生対象の食生活に関する意識調査からー
 ○子どものやる気を引き出す教師の褒め方・叱り方 ー授業を中心としてー
 ○読書が子供たちに与える効果 ー読書好きな子どもを育てる読書活動の提案ー
 ○ゆとり教育から見た教育
 ○不登校児童とクラスの児童をつなぐ ー家庭支援の視点からー
 ○ピクサーの魅力 ー『トイ・ストーリー』3 作品と『ファインディング・ニモ』を通してー
 ○小学校算数科における割合の指導に関する研究
 ○保育所と乳児院の子どもの発達の違いと職員の対応について
 ○戦争と教育 ー日米の平和教育の比較を手がかりとしてー
 ○「ぐりとぐら」の魅力
 ○アニメーションを通して制作者の意図を探る
 ○発達障害のある子どもへの保育者のかかわりについて ー幼稚園における自閉症児の支援ー
 ○幼児と自然とのかかわりを深めるための保育・教育の工夫・改善に関する研究
 ○通常学級における発達障害をもった児童への支援方法
 ○女児に人気のアニメキャラクターの変遷
 ーセーラームーン、プリキュア、ディズニー・プリンセスを中心にー
 ○子どもの自尊感情を育む道徳教育 ーいのちの教育による共有体験を通してー
 ○日本人に合った英語学習法の考察 ー日本人は英語とどう向き合ってきたかー
 ○保育者の言葉が幼児の言動に及ぼす影響を考察する
 ○子どもの発達と環境についての研究
 ○幼児期のごっこ遊びの展開と発達との関係についての研究
 ○絵本は環境としてどのように生かされているかについての考察
 ○保育場面における絵本の活用について
 ○現代日本における乳幼児期の食生活に関する考察 ー子どもたちの描く絵からみる食事環境ー

青 赤 浅 五十	木 堀 野 嵐	か 英 お 恵 り 葉	舞 華
伊 上 浦 海 大 大	藤 田 林 原 垣 澤	綾 ゆ 菜 裕 香	華 り 那 恵 瞳 穂
大 大 大	槻 野 場	友 瑞 千	美 稀 智
鹿 川 小 小 小 小 齊 坂 坂 櫻	島 瀬 平 林 松 藤 田 井	香 奈 瑞 香 珠 未 葉 未 翔	織 菜 香 月 織 里 起 月 来 子
佐 佐 白 鈴 鈴 立	藤 藤 土 木 木 田	希 文 千 彩 み 智	望 加 尋 乃 き 子
田 田 東 中	中 村 海 林 村	友 菜 彩 春	紀 乃 摘 佳 菜
長 西 星 堀 本 松 三 南 三 三 山 山 大 渡	島 澤 野 内 田 井 浦 川 輪 輪 上 田 和 邊	尚 実 香 琴 真 彩 希 一 彩 恭 有 亜 夏 真	子 咲 織 美 祐 子 夏 美 慧 菜 子 紀 美 紀 衣
渡 奥 落 糸 大 木 小 西 鈴	辺 村 合 井 塚 村 枝 村 木	玲 彩 佐 里 真 結 智	名 萌 加 織 奈 穂 佳 里 衣 菜